

# 環境経営活動レポート 2019



**ミクニパーテック株式会社**

取り組み期間（2018年4月～2019年3月）

作成日 2019年7月

## 社長挨拶

ミクニパーテック株式会社は、東証1部上場(株)ミクニグループの一翼を国内で担っております。

「私たちは地球的視野にたち、人と技術を活かし豊かな社会づくりに貢献します。」とのグループ企業理念のもと、環境への配慮を怠ることなく、「ものづくり」を基盤とした維持可能な高収益を目指してまいります。

昨今の気候変動が起因とも思われる自然災害への備えも怠らず、今まで以上に一層の環境マネジメントシステムを効果的に運用し、地域社会への貢献共存と社業の継続的な発展をすすめてまいります。



ミクニパーテック株式会社  
代表取締役社長

秦野武広

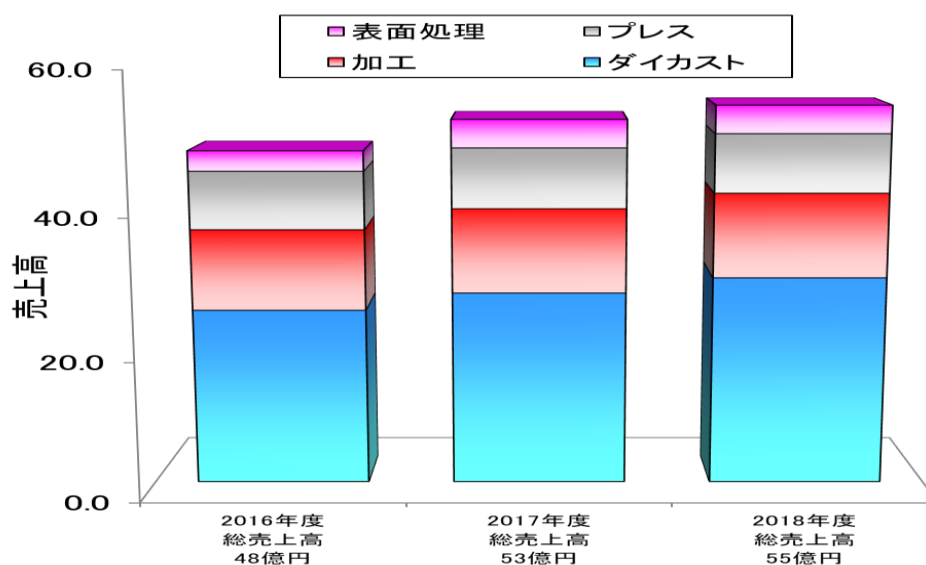
# 環境経営レポート項目

|                              |       |     |
|------------------------------|-------|-----|
| 1 目次                         | ..... | P1  |
| 2 会社概要                       | ..... | P2  |
| 3 沿革                         | ..... | P3  |
| 4 製品紹介（その1）                  | ..... | P4  |
| 5 製品紹介（その2）                  | ..... | P5  |
| 6 生産設備紹介                     | ..... | P6  |
| 7 環境経営方針                     | ..... | P7  |
| 8 環境経営マネジメント体制               | ..... | P8  |
| 9 環境経営目標                     | ..... | P9  |
| 10 環境経営活動計画                  | ..... | P10 |
| 11 EMS年間実行計画                 | ..... | P11 |
| 12 環境実績結果                    | ..... | P12 |
| 13 環境経営計画の取組結果とその評価          | ..... | P13 |
| 1. 省エネ活動                     | ..... | P13 |
| 2. 水資源の有効活用と水質汚濁防止管理         | ..... | P14 |
| 3. 廃棄物のゼロエミッション目標によるリサイクルと削減 | ..... | P14 |
| 4. 水溶性切削油使用管理による削減           | ..... | P15 |
| 5. 作動油管理による購入量の削減            | ..... | P15 |
| 6. グリーン購入                    | ..... | P16 |
| 7. 工程内不良削減                   | ..... | P16 |
| 9 環境負荷量の経年変化                 | ..... | P17 |
| 10 その他の取組結果                  | ..... | P18 |
| 1. 教育訓練                      | ..... | P18 |
| 2. 環境美化活動                    | ..... | P19 |
| 3. 事務間接活動                    | ..... | P19 |
| 4. 地域コミュニケーション               | ..... | P19 |
| 次年度の取組内容                     | ..... | P20 |
| 11 環境関連法規への違反、訴訟の有無          | ..... | P21 |
| 12 経営者の全体評価と見直し              | ..... | P22 |

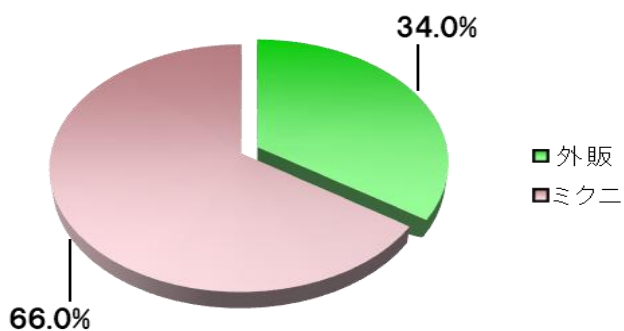
## 会社概要

|              |   |
|--------------|---|
| 社名           | ミクニパーテック株式会社  |
| 設立           | 1988年 5月 2日   |
| 代表者名         | 代表取締役社長 秦野 武広   |
| 所在地 ①本社・相良工場 | 〒421-0535 静岡県牧之原市笠名500-1<br>Tel : 0548-58-1620 / Fax : 0548-58-1694 |
| 事業内容         | 自動車関連及び産業用部品の製造及び表面処理   |
| 主要製品         | 油圧ポンプ、スロットルシャフト、温度制御等の各種部品  |
| 出荷額（売上高）     | 5,483.6百万円（2018年度）  |
| 従業員数         | 311名（2018年度平均）  |
| 敷地面積         | 98,614㎡   |
| 建物延床面積       | 17,704㎡   |

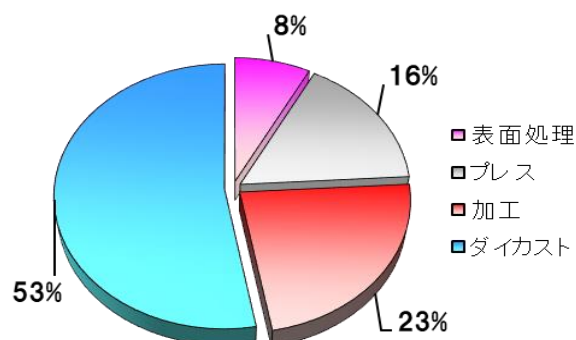
### 事業別売上高



### 売上比率



### 事業別売上比率



## 沿革



表面処理棟

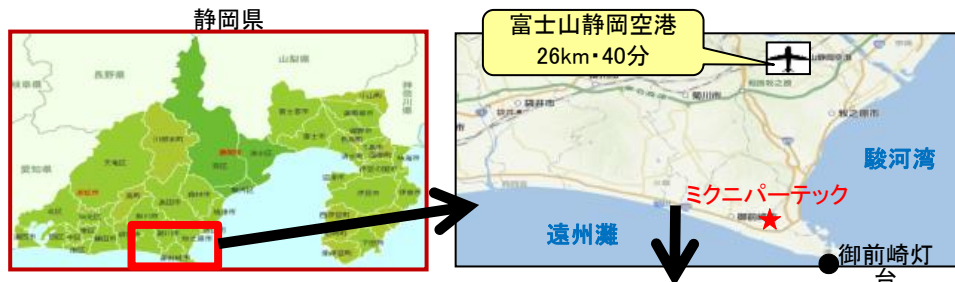


吉田工場移管



(旧)ミクニザイマス

## 《本社・相良工場》



環境管理責任者 生産統括部 米田 善行  
(連絡先) Tel : 0548-58-1620(代)  
Fax : 0548-58-1694

環境管理担当者 生産統括部  
管理改善グループ 竹嶋 悦人  
(連絡先) Tel : 0548-58-1620 (代)  
Fax : 0548-58-1694

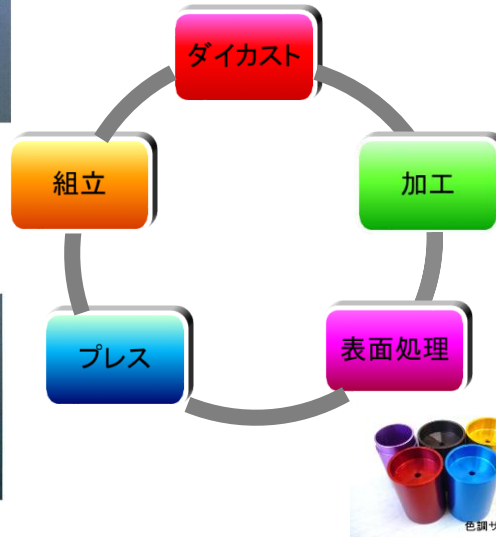


## 製品紹介

当工場は、ダイカスト、ダイカスト加工・組立、プレス、挽物加工、表面処理の工程を有し、一貫生産する事で、材料投入から出荷まで省エネを意識した、物造りに取り組んでいます。

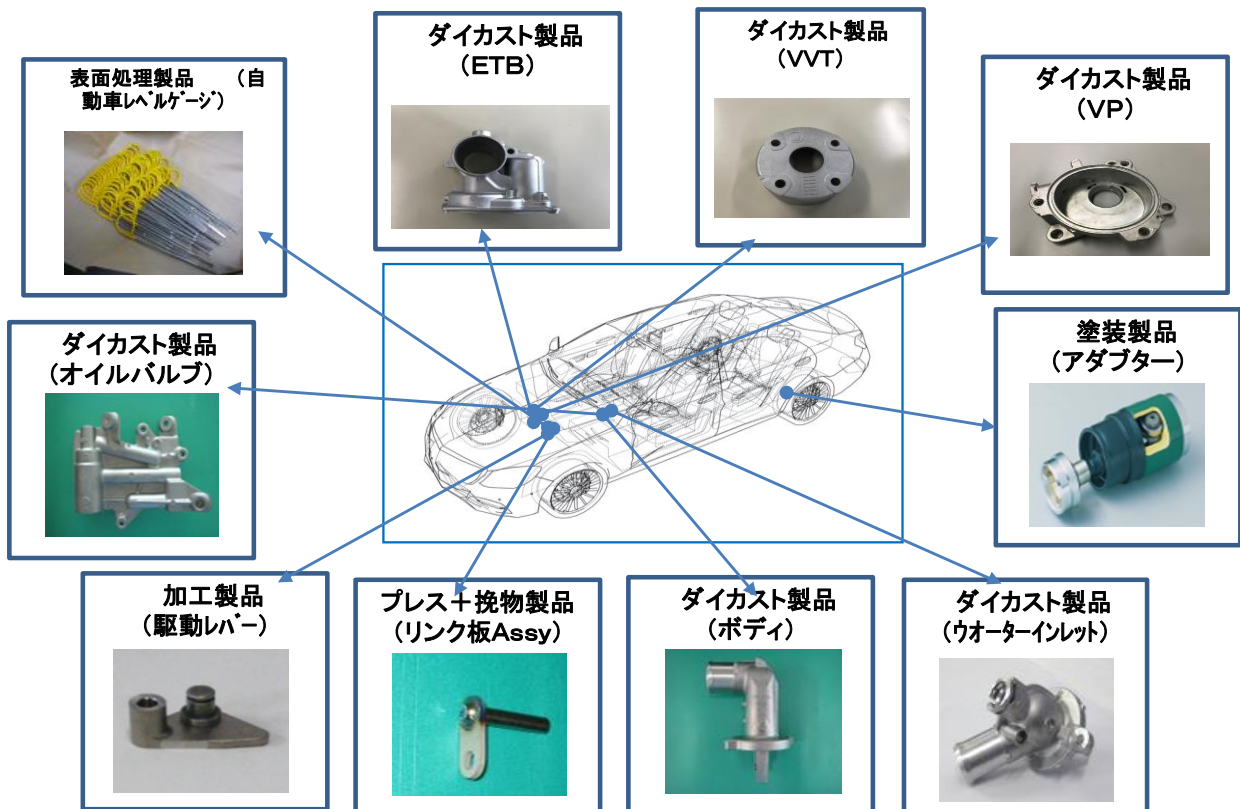
### 一貫生産のメリット

1. リードタイムの短縮
2. コスト低減
3. 管理工数の削減



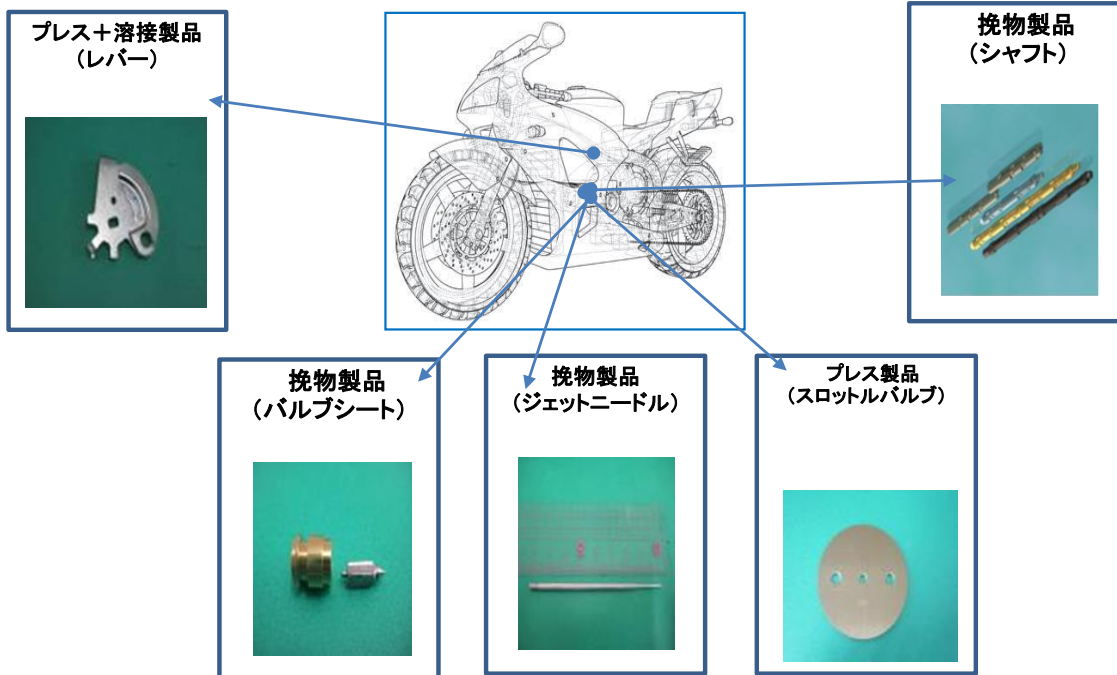
### 自動車関連製品

自動車製品は、省エネを実現するための部品を製造しています。



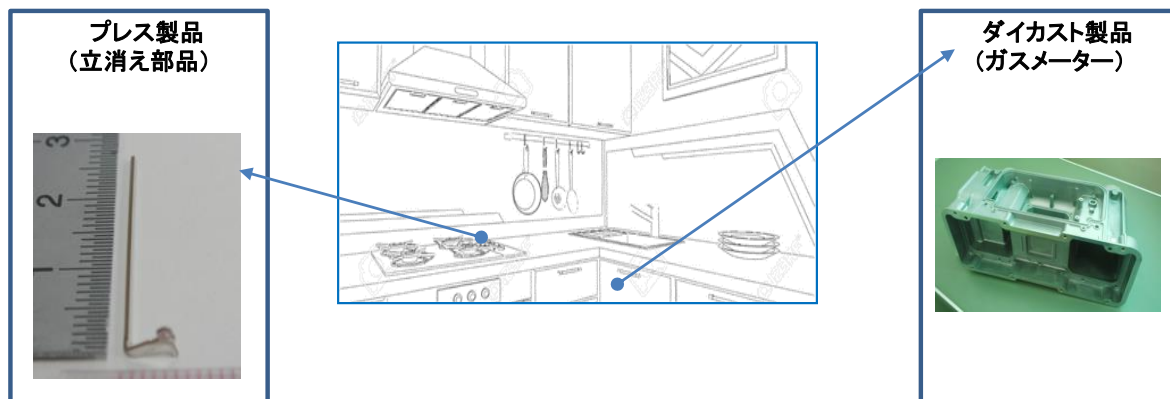
### ◆二輪車車関連製品◆

二輪車関連部品も四輪車同様に燃費向上の部品を製造しています。



### ◆ガス器具関連製品◆

ガス関係製品は、ガス災害を未然に防止する製品を製造しています。



# 生産設備紹介

## 加工・組立設備



### [主な保有設備]

|          |     |
|----------|-----|
| NC自動旋盤   | 48台 |
| NC複合旋盤   | 15台 |
| カム式NC旋盤  | 1台  |
| 大型旋盤     | 1台  |
| マシニングセンタ | 71台 |

## プレス設備



### [主な保有設備]

|            |    |
|------------|----|
| トランスファープレス | 2台 |
| 順送プレス      | 7台 |
| 単発プレス      | 7台 |
| サーボプレス     | 1台 |
| 溶接機        | 7台 |
| Tig溶接機     | 1台 |

## ダイカスト設備



省エネ設備の導入を展開してい

### [主な保有設備]

|               |     |
|---------------|-----|
| ダイカストマシン 800t | 2台  |
| ダイカストマシン 500t | 2台  |
| ダイカストマシン 350t | 15台 |
| ダイカストマシン 250t | 2台  |
| ダイカストマシン 135t | 1台  |
| 研掃機           | 4台  |

## 表面処理設備



### [主な保有設備]

|           |      |
|-----------|------|
| アルマイト(量産) | 2ライン |
| アルマイト(試作) | 1ライン |
| リン酸塩処理槽   | 1ライン |
| クロメート処理   | 1ライン |
| 塗装ライン(量産) | 4ライン |
| 塗装ライン(試作) | 2ライン |

## 検査設備



CTスキャナー



材料分析器



画像測定





**ミクニパーテック株式会社**

# 環境経営方針

## 環境基本理念

私たちは、「地球的視野にたつ」を共通認識として捉え、環境や社会との共存並びに次代の共栄のため持続可能な社会の実現に貢献します。

## 環境経営方針

私たちは、自動車関連部品、環境機器並びに家庭用ガス機器関連部品の設計・開発から製造・販売・使用、そして廃棄に至るまでの全過程を“ものづくり”と考え、環境負荷を継続的に低減し、且つ環境保護に貢献する活動に取り組みます。

1. 安全と環境に配慮した品質第一のものづくりを全社員一丸となって実践し、人と技術を活かし豊かな社会づくりに貢献します。
2. 以下の具体的な活動に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献します。
  - ①不良削減や生産性向上はもとより改善活動を行う事により温室効果ガス排出量を低減する
  - ②ライフサイクルを考慮し3R及び環境配慮設計を織り込んだ製品を広く提供する
  - ③汚染や火災の予防及び安全を考慮し、有害化学物質の代替又は削減を進める
3. 環境関連法規・規制・条例・協定などの国内外の要求事項、並びに地域社会やお客様からの要求事項を順守するとともに環境管理レベルの向上と汚染の予防に努めます。
4. 経営戦略として環境経営に積極的に取り組み、環境マネジメントシステムにより継続的改善に努めます。
5. 地域とのコミュニケーションを図り、継続的に良好な関係を維持します。
6. 活動の結果について評価し定期的な見直しを実施するとともに、当社で働くすべての人に対し目標の達成に向けた必要な教育訓練を実施します。

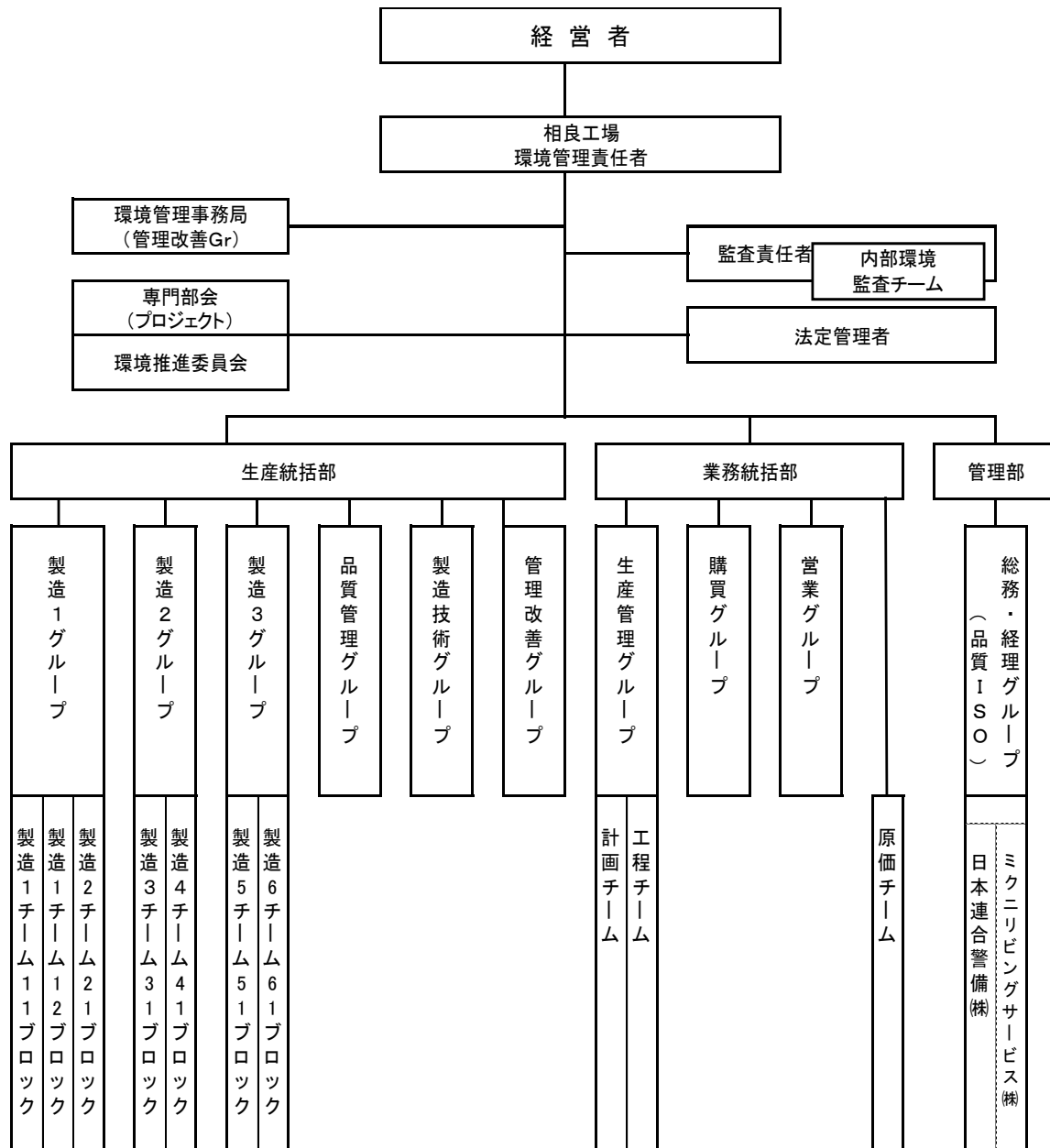
2019年4月1日

ミクニパーテック株式会社  
代表取締役社長

## 環境経営マネジメント体制

当社は、環境経営活動を全社展開しております、組織の横断的活動を計るため下図のような環境経営マネジメント体制を構築し環境保全活動に取り組んでいます。特徴は、E A 2 1 要求事項に対し環境経営専門部会及び推進委員会を設け、各メンバーは主幹組織から選出を行い、専門部会との連携を計り、全ての組織従業員を対象に環境改善を通じ経営に寄与すべく活動を展開しています。

### ◆ 管理体制 ◆



**【ミクニパーテック環境経営マネジメント体制図】**

## 環境経営目標

### 1. 実績取りまとめ期間

2018年4月開始から、2019年3月迄の期間

### 2. 環境目標

- ① 地球温暖化防止の為、電気、ガスの省エネ活動を行いCO<sub>2</sub>排出量を低減し動力費削減を行います。
- ② 水資源の有効活用と水質汚濁予防の為、使用量の適正化を目論見、推進し水道光熱費削減を行います。
- ③ 資源の有効活用を図る為、廃棄物の分別回収によるリサイクルと廃棄物削減により廃棄ロス削減を行います。
- ④ 水溶性切削剤のミニマム化を図り化学物質使用量の削減により補助材料費の削減を行います。
- ⑤ 作動油関連の改良保全、清浄化、監視により化学物質の削減と経費削減を行います。
- ⑥ グリーン購入を推進し化学物質使用量を削減します。
- ⑦ 自らが生産・販売・提供する製品の省エネ、化学物質使用量を削減し経費、工数削減を行います。

上記7項目について、各々目標値を定め、改善活動を進めました。

【環境目標値】 2015年度活動実績から2016年度～2018年度の目標値設定を行いました。

| 活動項目 |                       | 単位                 | 基準値<br>2015年度 | 目標値<br>2016年度 | 目標値<br>2017年度 | 目標値<br>2018年度 |
|------|-----------------------|--------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| ①    | 省エネ活動                 | kg-CO <sub>2</sub> | /             | 15年度実績の1%削減   | 15年度実績の3%削減   | 15年度実績の4%削減   |
|      |                       |                    | 6,447,292     | 6,382,818     | 6,253,874     | 6,189,400     |
| ②    | 水資源の有効活と水質汚濁<br>防止管理  | m <sup>3</sup>     | /             | 15年度実績の1%削減   | 15年度実績の3%削減   | 15年度実績の5%削減   |
|      |                       |                    | 13,974        | 13,834        | 13,555        | 13,275        |
| ③    | 廃棄物のゼロエミッション<br>目標による | kg                 | /             | 15年度実績の1%削減   | 15年度実績の3%削減   | 15年度実績の5%削減   |
|      |                       |                    | 9,370         | 9,276         | 9,089         | 8,902         |
| ④    | 水溶性切削剤使用管理に<br>よる削減   | cc/個               | /             | 15年度実績の1%削減   | 15年度実績の3%削減   | 15年度実績の5%削減   |
|      |                       |                    | 1.61          | 1.59          | 1.56          | 1.53          |
| ⑤    | 作動油管理による購入量<br>の削減    | cc/個               | /             | 15年度実績の1%削減   | 15年度実績の3%削減   | 15年度実績の5%削減   |
|      |                       |                    | 3.34          | 3.30          | 3.23          | 3.17          |
| ⑥    | グリーン購入                | %                  | /             | 15年度実績の1%増    | 15年度実績の2%増    | 15年度実績の3%増    |
|      |                       |                    | 40.0          | 41.0          | 43.0          | 45.0          |
| ⑥    | グリーン購入                | 千円                 | /             | 15年度実績の1%削減   | 15年度実績の3%削減   | 15年度実績の5%削減   |
|      |                       |                    | 3,011         | 2,981         | 2,921         | 2,860         |
| ⑦    | 工程内不良削減               | %                  | /             | 15年度実績の20%削減  | 15年度実績の20%削減  | 15年度実績の20%削減  |
|      |                       |                    | 1             | 80%           | 64%           | 51%           |

※CO<sub>2</sub>算出係数は「0.485kg-CO<sub>2</sub>」で算出

## 主な環境経営計画の内容

| 取組項目                        | 環境経営計画                                   | 担当者        |
|-----------------------------|--|------------|
| 1 省エネ活動                     | ・ 受電設備のデマンド管理（監視と対応）による電力使用量の削減          | 省エネ専門部会    |
|                             | ・ 掲示物、電光掲示板による消費電力の見える化                  | ↑          |
|                             | ・ ムダ電力削減（長期休暇の待機電力削減、外灯点灯時間の調整、自動販売機の停止） | ↑          |
|                             | ・ ムダ電力削減（ﾀﾞｲｶｽﾄﾏｼﾝ更新）                    | ↑          |
|                             | ・ 工場定期巡視によるエア－洩れ確認と対策                    | ↑          |
|                             | ・ カレンダータイマーを活用した低温保持の強化                  | ↑          |
|                             | ・ 環境専門部会と主幹組織の連携及び協力体制強化                 | ↑          |
| 2 水資源の有効活用と水質汚濁防止管理         | ・ 生産量と水道使用量監視による問題点の洗い出し                 | 水資源専門部会    |
|                             | ・ 排水処理水の再利用                              | ↑          |
|                             | ・ 腐食水漏れ配管の検査と補修                          | ↑          |
|                             | ・ 改善箇所の維持管理                              | ↑          |
|                             | ・ 自主管理基準の維持管理                            | ↑          |
|                             | ・ 表面処理棟水質管理                              | ↑          |
|                             | ・ 表面処理棟現状把握と通水量管理の導入                     | ↑          |
|                             | ・ 定期的巡回による点検                             | ↑          |
|                             | ・ 雨水側溝清掃実施                               | ↑          |
|                             | ・ 環境専門部会と主幹組織の連携及び協力体制強化                 | ↑          |
| 3 廃棄物のゼロエミッション目標によるリサイクルと削減 | ・ 置場改善による廃棄物分別の推進                        | 廃棄物専門部会    |
|                             | ・ 廃棄物処理業者管理の徹底                           | ↑          |
|                             | ・ 廃棄量削減による問題点の早期対策                       | ↑          |
|                             | ・ ルール策定、教育による再資源化推進                      | ↑          |
|                             | ・ 廃棄物を使用しない、発生させない仕組み作り                  | ↑          |
|                             | ・ 環境専門部会と主幹組織の連携及び協力体制強化                 | ↑          |
| 4 水溶性切削油使用管理による削減           | ・ 切削油の定期交換による使用量削減                       | 化学物質専門部会   |
|                             | ・ 希釈量（濃度）管理による過剰使用防止                     | ↑          |
|                             | ・ 切削油の持ち出し削減                             | ↑          |
|                             | ・ 環境専門部会と主幹組織の連携及び協力体制強化                 | ↑          |
| 5 作動油管理による購入量の削減            | ・ 計画保全による作動油洩れ防止対策                       | ↑          |
|                             | ・ マシン作動油接続ホースの点検強化                       | ↑          |
|                             | ・ 巡回による配管等の洩れ確認と早期復元                     | ↑          |
|                             | ・ 作動油浄化による接続部破損原因の対策                     | ↑          |
|                             | ・ ダイカストマシン更新                             | ↑          |
| ・ 環境専門部会と主幹組織の連携及び協力体制強化    | ↑  |            |
| 6 グリーン購入                    | ・ 新規、途中入社者への教育訓練                         | グリーン調達専門部会 |
|                             | ・ エコ商品リスト作成による在庫管理の徹底                    | ↑          |
|                             | ・ 新規購入品のエコ商品推奨と既存更新時のエコ商品への切替            | ↑          |
|                             | ・ 事務用品の3S活動による管理統一                       | ↑          |
|                             | ・ 環境専門部会と主幹組織の連携及び協力体制強化                 | ↑          |
| 7 工程内不良個数削減                 | ・ 良品条件の確立と遵守                             | 製造GL       |
|                             | ・ 日々管理により即改善の展開                          | 製造GL       |
|                             | ・ 現場ルール遵守の監視と是正                          | 製造GL       |
|                             | ・ 情報の積極的開示と即アクションの徹底                     | 製造GL       |
|                             | ・ 情報収集による改善策の深堀と実施                       | 製造GL       |
|                             | ・ 環境専門部会、環境推進委員会と主幹組織の連携及び協力体制強化         | 環境事務局      |

# EMS年間実行計画

## 1. 2018年度エコアクション21年間実行計画

年間計画を立案し環境専門部会と環境推進会議メンバー、主幹組織で、負荷物質削減、環境美化活動を実施しています。

### 2018年度エコアクション21・EMS年間実行計画

|                |                  |                |
|----------------|------------------|----------------|
| 登録No<br>承認     | PIB0018-001      |                |
|                | 確認               | 作成             |
| 2018.5.9<br>承認 | 2018/05/08<br>承認 | 2018.5.7<br>承認 |
|                | 2018.05.08       | 2018.05.07     |

| 項目       | 活動名           | 活動内容                            | 活動詳細  | 活動部署・組織  | 納期・頻度  | 結果  | 4月             | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |   |   |
|----------|---------------|---------------------------------|---|--|--|---|----------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|---|---|
| イベント     | EA21更新・中間審査   | 審査申込                            | 申込内容の変更点精査  | 事務局  | 4月2日   | 4月2日  | ●              |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
|          |               | 書類審査                            | ・環境活動レポート<br>(シートNo2、参照)  | 事務局  | 6月12日  | 6月19日   | ●              | →  | →  | →  | →  | →  | →   | →   | →   | →  | →  | →  | → |   |
|          |               | 現地審査                            | ・現地審査スケジュール<br>(シートNo3、参照)  | 全組織  | 6月27・28日   | 6月27日   | ●              | →  | →  | →  | →  | →  | →   | →   | →   | →  | →  | →  | → |   |
|          | マネジメントレビュー    | 2017年度活動まとめ<br>2018年度目論見        | (省エネ専門部会)(水資源専門部会)<br>(廃棄物専門部会)(グリーン専門部会)<br>(油脂類と洗浄剤の使用量削減専門部会)<br>マネジメントレビュー(経営者に実績報告)<br>(シートNo4、参照)   | 専門部会・事務局<br>代表者・環境責任者  | 5月28日<br>5月30日<br>5月31日変更                                  | 5月30日<br>5月31日                                      | ●              | →  | →  | →  | →  | →  | →   | →   | →   | →  | →  | →  | → |   |
|          |               |                                 | 改善のサイクルPDCAのご指摘及び活動の活性化のご指摘   |  |  |   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
|          | 内部監査          | 内部監査資料作成                        | 資料作成と開示及び実施<br>・内部環境監査委員・資格認定者管理表<br>・内部監査チェックシート<br>・内部監査の目的・内部監査計画書<br>・内部監査実施通知書・内部監査報告書<br>・内部監査完了報告書<br>・監査レポート<br>・マネジメントシステム改善計画書<br>(シートNo5、参照) | 事務局<br>事務局<br>内部監査員リーダー<br>事務局<br>推進メンバー<br>事務局  | 4月25日 & 1月下  | 4月25日   | ●              | →  | →  | →  | →  | →  | →   | →   | →   | →  | →  | →  | → |   |
|          |               |                                 | 内部監査実施<br>内部監査完了報告書   | 監査結果経営者への報告  |  | 5月17日<br>5月28日                                      | 5月17日<br>5月30日 | ●  | →  | →  | →  | →  | →   | →   | →   | →  | →  | →  | → | → |
|          | 緊急事態想定訓練      | 訓練の実施<br>訓練要領の見直し               | 実際を想定して訓練を行う  | 推進メンバー   | 2018年度下期   |   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
|          |               |                                 | 訓練を反省し要領書アップを計る   | 推進メンバー   | 2018年度下期   |   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
|          | 地域とのコミュニケーション | 地域活動への参画                        | 飯川稚魚放流<br>中部電力省エネ指導会  | 総務Gr<br>製造技術Gr   | 9・10月<br>7月/30   |   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
| 専門部会活動   | 省エネ・環境経営活動    | 経営目標チェック会                       | 各専門部会目論見と目論見値進捗<br>(省エネ専門部会)<br>(水資源専門部会)<br>(廃棄物専門部会)<br>(グリーン専門部会)<br>(油脂類と洗浄剤の使用量削減専門部会)<br>管理指標の作成  | 専門部会・事務局<br>専門部会・事務局<br>専門部会・事務局<br>専門部会・事務局<br>専門部会・事務局<br>事務局                                | 毎月第3木曜<br>毎月第3木曜<br>毎月第3木曜<br>毎月第3木曜<br>毎月第3木曜             |   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
|          |               |                                 | 各専門部会資料作成   |  |  |   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
| 推進メンバー活動 | 環境美化活動        | 工場敷地内                           | 水門の清掃<br>側溝の清掃<br>工場東側歩道通り草取り<br>工場入口花壇草取り<br>避難訓練道路ゴミ拾い<br>工場フェンス内ゴミ拾い<br>土のう点検  | 推進メンバー・事務局<br>推進メンバー・事務局<br>推進メンバー・事務局<br>推進メンバー・事務局<br>推進メンバー・事務局<br>推進メンバー・事務局<br>推進メンバー・事務局 | 6月15日<br>7月6日<br>7月13日<br>7月24日<br>11月9日<br>12月3日<br>2月15日 | 9月28日<br>10月5日<br>7月20日<br>7月11日<br>12月7日<br>12月14日 |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
|          |               |                                 | 取引業者視察  | 現地確認   | コーンサービス(廃液)確認  | 総務・事務局  | 11月            |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
| 事務局      | EA21推進委員会     | 専門部会連携                          | 活動成果の共有とキャップの対策   | 専門・推進・事務局  | 毎月第3木曜   |   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
|          |               |                                 | OffJTによる内部監査員育成   | 事務局  | 下期(10~1月)  | 11月7日   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
| 事務局      | 2017年度版移行準備   | 監査員の育成                          | 地域事務局現場支援   | 事務局  | 8月27日  | 8月28日・11月7日   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
|          |               |                                 | 審査人による講習会企画   | 事務局  | 10月~11月  |   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
|          |               |                                 | マニュアル更新   | 事務局  | 6月・10月   | 済み  |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
|          |               |                                 | 環境側面<br>法規整理  | 事務局  | 6月・10月   | 7月26日   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
| 事務局      | 環境レポート作成      | 作成・HP掲載                         | 新規・更新の確認  | 事務局  | 6月・10月   | 7月26日   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
|          |               |                                 | ミクニ参考視作成  | 事務局  | 6月12日 & 3月   | 6月12日   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
| 事務局      | 審査指摘の進捗       | 公的指摘の是正<br>組織指摘の是正<br>専門部会指摘の是正 | 改善と維持管理の定着  | 総務・事務局   | 7・8月   | 9月30日   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
|          |               |                                 | 改善と維持管理の定着  | 推進・事務局   | 7・8月   | 9月30日   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
| 事務局      | 次年度準備         | 目標設定<br>活動メンバー選出                | 目論見の抽出と目論見値の明確化   | 専門部会・事務局   | 2月~3月  | 3月20日   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
|          |               |                                 | 活動メンバー選出  | 事務局  | 2月~3月  | 3月20日   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |
| その他      | ミクニEMS事務局     | ハータック活動報告                       | 連携によるご教授  | 事務局  | 毎月末  |   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |   |   |

## 環境実績結果

2018年度は、長期マネジメントプログラムの最終年度となり、活動を展開しました。長期3か年の間には、表面処理事業活動が新たに始まり目標値の見直しを検討しましたが初期目標値で取り組むこととしました。下記実績値表は、3ヶ年計画を立てた時点の基準値に対しての絶対値達成度となります。

又生産増を考慮して生産に対する原単位評価も新たに組み込むこととしました。2018年度は、上記から、基準値対策、特殊要因対策を平行に行い絶対値での達成及び原単位での削減を目指し活動しました。

【実績値】（2018年4月～2019年3月迄）

| 活動項目                        | 単位                 | 基準実績値<br>(c) | 18年度目標<br>(a) | 18年度実績<br>(b) | 達成度     | 評価 |
|-----------------------------|--------------------|--------------|---------------|---------------|---------|----|
| ① 省エネ活動                     | kg-CO <sub>2</sub> | 6,447,292    | 6,189,400     | 7,780,317     | -25.7%  | ×  |
| ② 水資源の有効活と水質汚濁防止管理          | m <sup>3</sup>     | 13,974       | 13,275        | 14,666        | -10.5%  | △  |
| ③ 廃棄物のゼロエミッション目標によるリサイクルと削減 | kg                 | 9,370        | 8,902         | 36,890        | -314.4% | ×  |
| ④ 水溶性切削油使用管理による削減           | cc/個               | 1.61         | 1.53          | 5.91          | -286.3% | ×  |
| ⑤ 作動油管理による購入量の削減            | cc/個               | 3.34         | 3.17          | 2.72          | 14.2%   | ○  |
| ⑥ グリーン購入                    | %                  | 40.00        | 45.00         | 30.60         | 68.0%   | ×  |
| ⑥ グリーン購入                    | 千円                 | 3,011        | 2,860         | 3,354         | -17.3%  | ×  |
| ⑦ 工程内不良削減                   | %                  | 100%         | 51.2%         | 29.7%         | 42.0%   | ×  |

※ 水資源の有効活と水質汚濁防止管理は、表面処理にて使用する水量を対象とする。

※ 廃棄物のゼロエミッション目標によるリサイクルと削減は、廃プラのみを対象とする。

※ CO<sub>2</sub>算出係数は「0.485kg-CO<sub>2</sub>」で算出

※ エコ商品購入比率の削減目標、削減実績は購入アップ率となります。

※ 目標に対しての達成度：達成はプラス、○印100%以上、×印90%未満、△印100%未満90%以上で見える化

※ 廃棄物のゼロエミッション目標によるリサイクルと削減は廃プラスチックのみを対象

※ 水資源の有効活用と汚濁防止は表面処理で使用する水量のみを対象

※ 達成度 (%) =  $(1 - \frac{(b)}{(a)}) * 100$

## 環境経営計画の取組結果とその評価

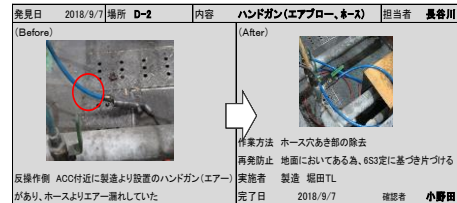
2018年度は、長期、短期マネジメントプログラム（2016年度～2018年度）の最終年となります。2018年度はPDCAのチェック、アクションを充実させ活動を実施しました。環境経営プログラムを達成する事は、従業員の働く環境を『易しく』する事はもとより、会社経営に寄与する事を組織全体が認識し活動を行いました。2018年度の絶対値目標達成は、化学物質使用量削減の作動油のみでした。しかしながら、2018年度各環境経営専門部会は、削減する為のデータ、要因の深堀が定量で把握することが出来ました。又、原単位では、ベンチマーク比較で事務費削減、工程内不良削減は、達成できました。

### 1. 省エネ活動

#### 2018年度改善活動トピックス

##### ①工場内エア漏れ総点検実施

- 点検漏れを発見した箇所については各組織に依頼を行い、TPM活動時間を活用し復元、改良を行い、再発しないように勧めました。



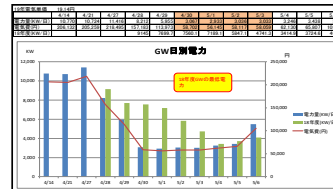
##### ②ワンポイントレッスン

- 休憩時間の消灯をOPL（日本語、英語版）を作成し作業者教育と実施の監視を行い活動の定着を計りました。



##### ③待機電力の把握

- 長期休暇を利用し待機電力の測定を実施。待機電力値が分かったことは、長期連休、休日の目標値となり、又更なる改善の機会が見えました。2019年度はこの数字をしきい値として長期連休、休日、稼働日の電気量を改善していく事となります。



##### ④電源スイッチの責任者及び役割を決める

- 各ラインの責任者を明確にし、ムダな電力の抑制を行う。



##### ⑤省エネタイプダイカストマシン導入

- 211kw/H×20日×12ヶ月 = 50,640kw/H
- CO2排出量計算 25,978kg-CO2/年
- 2018年度までに同様設備3台導入



#### ④2018年度活動及び2018年度活動評価

| 取組内容(2018年度) |   | 評価  |
|--------------|---|---|
| エア削減         | <ul style="list-style-type: none"> <li>エア洩れ対策(ホース・バルブ見直し)</li> <li>エアブロー削減(スプレー時間短縮)</li> <li>休日のコンプレッサー停止</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ デマンド監視ソフト警報設置、管理強化実施</li> <li>○ 契約電力見直し検討実施</li> </ul> |
| 空調管理         | <ul style="list-style-type: none"> <li>夏冬エアコン温度管理(従業員の健康優先)</li> <li>快適作業エリア取組</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 掲示物及び電光掲示板による周知徹底</li> </ul>                           |
| LPG削減        | <ul style="list-style-type: none"> <li>カレンダータイマー活用</li> <li>空焚き溶解の中止・炉内清掃</li> <li>レイアウトによる照明配置の検討</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>△ 長期休暇時ムダ待機電力の削減実施</li> </ul>                            |
| ムダ電力削減       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 無負荷設備の停止(ポンプ・照明)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前年度より継続実施</li> <li>○ 使用エネルギー集計、記録により管理</li> </ul>      |
| 省エネ設備検討      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 省エネ設備の導入(高効率設備)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ダイカストマシン更新(1台更新)</li> </ul>                            |

※ 評価記入方法 ○…効果有 △…やや効果有 ×…効果無

## 2. 水資源の有効活用と水質汚濁防止管理

### 2018年度改善活動トピックス

#### ① 流量計設置

- アルマイトライン、シャワー水の吐出量を決め、吐出量を削減する事で使用量の削減が出来ました。



#### ② 啓蒙活動

- 1㎡当りの金額を作業者末端化でポスターを作成し削減を呼び掛けました。



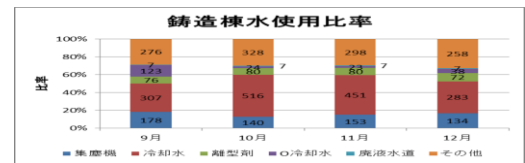
食堂への通路に掲示



部署朝礼に掲示

#### ③ データ分析

- データから冷却水の変化点に気づき調査した所、フィルターのつまりから漏洩を発見。設備点検項目に落とし込み再発防止を計ることとした。理論値を掴むことで対策に繋げることが出来ました。



#### ④ 排水水質状況は、問題ありませんでした

- \*水質検査では、自主管理値を設定し推進しました。
- \*基準値外は年間ありませんでした。

| 検査項目 | 4月  | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 雨水   | PH  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
| 排水   | SS  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
|      | BOD | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
|      | COD | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
| 加圧排水 | PH  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
|      | SS  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
|      | BOD | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
| 廃液排水 | PH  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
|      | SS  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
|      | BOD | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
| 高圧排水 | PH  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
|      | SS  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
|      | BOD | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
| 雑排水  | PH  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
|      | SS  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
|      | BOD | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |

#### ⑤ 2018年度活動及び2018年度活動評価

| 取組内容(2018年度) |   | 評価                                      |
|--------------|---|---|
| 水使用量削減       | ①表面処理棟 水洗い流量計設置<br>アルマイト装置ラインに流量計を導入し、使用量の管理を実施して、水使用量の削減<br>・止水フロートのチェック<br>・特殊増加要因の対策 | ○<br>・洩れ箇所対策<br>・表面処理棟水使用量の現状把握及び削減実施   |
|              | ②铸造棟 クーリングタワーの水漏れ<br>クーリングタワーに入る水の量を絞ったり壁を設けて水漏れを無くす                                    | ○<br>・手洗場の表示、水漏れ箇所の再指導実施                |
|              | ③铸造不良の削減で使用量削減<br>青伝金額30%削減よりショット数の削減になる為、水の使用量を減らす                                     | ○<br>・現状把握と問題点の洗い出し及び削減実施               |
|              | ④手洗いの蛇口ノズル変更で使用量削減<br>節水使用の蛇口ノズルに変更して、水使用量を減らす  | ×<br>・未実施に終わる2019年度検討アイテム               |
| 水質維持活動       | ⑤雨水側溝掃除・塩ビパイプのシャットダウン設置   | ○<br>・新規配管設置により引き続き経過観察継続及び水門のシャットダウン設置 |
|              | ⑥水質調査<br>工場の水質を維持し、工場外に出さない<br>毎月、水質調査を行い、維持管理を行う                                       | ○<br>・自主管理基準の設定値内で推移                    |
|              | ⑦処理棟の排水管理<br>処理棟の排水処理装置の維持管理<br>異常排水を行わない   | ○<br>・遵守出来た                             |

※ 評価記入方法 ○…効果有 △…やや効果有 ×…効果無

## 3. 廃棄物のゼロミッション目標によるリサイクルと削減

### 2018年度改善活動トピックス

- ① 廃プラスチックからPEとPPを分別廃棄しました。
- ② 各部署からの排出物について改善を実施しました。
- ③ 教育訓練の展開をしました。

#### ④ 2018年度活動及び2018年度活動評価

| 取組内容(2018年度) |   | 評価                                       |
|--------------|---|--|
| 排出量の再生割合拡大   | 分別の徹底による再資源化推進<br>・廃プラスチック置場の集約、管理<br>・分別手順の作成、指示<br>・原単位精査   | ○<br>・廃棄物管理、分別手順の策定完了<br>・作業者教育(OFFJT展開) |
|              | ・廃棄物分別教育の実施・従業員教育の実施  | ○<br>・廃棄物置場3定の実施完了                       |
| 排出量の低減       | プラスチック品の置き換え<br>・業者持ち帰りの徹底<br>・専門部会の定期開催、進捗確認<br>・部署ごとで各自使用のものを実施                                   | △<br>・再資源化、中間処理、最終処分に区分して集計              |
|              | 使い捨て品の廃止<br>・梱包材、緩衝剤等の使用材を改善<br>・専門部会の定期開催、進捗確認<br>・部署ごとで各自使用のものを実施<br>搬入プラスチックの削減<br>・発注の抑制・在庫品の3S | △<br>・改善活動の方向、目標は同じで進めた。                 |

※ 評価記入方法 ○…効果有 △…やや効果有 ×…効果無



#### 4. 水溶性切削油使用管理による削減

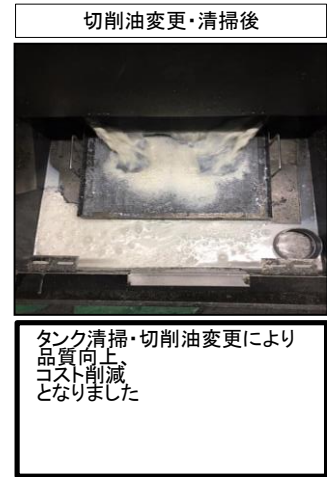
##### 2018年度改善活動トピックス

###### ①新規切削油の変更

- ・トライを実施していた切削油の評価が良好であるため、2018年度は切替を実施しました。引き続き2019年度も実施して行きます。効果としては、購入単価抑制、切削性向上により品質向上となりました。

###### ② 切削タンク、切削油定期交換の実施、

- ・清掃は点検なりよりこの機会を活用し、タンク内の点検不具合個所の改善を実施しました。



###### ③2018年度活動及び2018年度活動評価

| 取組内容(2018年度) |                               | 評価 |                         |
|--------------|-------------------------------|----|-------------------------|
| 定期保全         | ・年間カレンダーでタンク内清掃及び切削油交換実施と成果追跡 | ○  | ・切削油31台の交換を実施(2019年度継続) |
| 決め事遵守        | ・濃度管理継続                       | ○  | ・希釈量(濃度)管理による過剰な使用防止    |
| 監視活動         | ・新規切削油の評価及び横展開                | ○  | ・良好+匂いの制御               |
| 啓蒙活動         | ・専門部会による巡視活動                  | △  | ・巡視による指摘及び是正が出来た        |
|              | ・連携強化(環境改善目標の共有)              | ○  | ・改善活動の方向、目標は同じで進めた。     |

※ 評価記入方法 ○…効果有 △…やや効果有 ×…効果無

#### 5. 作動油管理による購入量の削減

##### 2018年度改善活動トピックス

###### ①定期保全及び日々点検実施と専門部会巡視による評価推進

- ・目標を達成したことから、目標値を高みにし活動を行いました。(新規導入設備作動油含む)ベンチマーク(原単位) 3.17cc/個⇒2.71cc/個となる

###### ②2018年度活動及び2018年度活動評価

| 取組内容(2018年度) |                               | 評価 |                               |
|--------------|-------------------------------|----|-------------------------------|
| 計画保全強化       | ・監視の頻度を変更                     | ○  | ・2ヶ月1回の定期巡視実施                 |
|              | ・マシン接続ホース点検維持継続               | ○  | ・21台実施                        |
|              | ・配管点検(Bラインの点検強化)<br>・点検項目の見直し | ○  | ・定期保全にて点検、復元を実施               |
| 自主点検         | ・連携強化(環境改善目標の共有)              | ○  | ・現状把握実施<br>・改善活動の方向、目標は同じ進める。 |

※ 評価記入方法 ○…効果有 △…やや効果有 ×…効果無

###### ③ 化学物質の購入量

| 購入量製品量  | 化学物質 | 購入量/年・kg |
|---------|------|----------|
| 3,344Kg | トルエン | 518      |
|         | キシレン | 131      |
|         | その他  | 772      |

6. グリーン購入

2018年度改善活動トピックス

- ①エコ商品一表の作成と入社社員への教育訓練
  - ・エコでない商品一覧の開示
  - ・グリーン通信の発行により主幹組織の現状値の見えるかと、削減活動を促す活動を実施



②2018年度活動及び2018年度活動評価

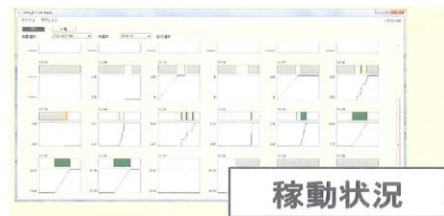
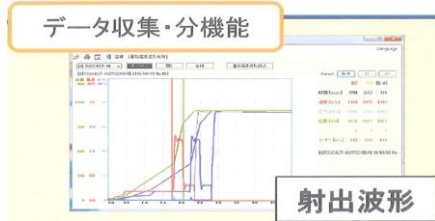
| 取組内容(2018年度) |  | 評価 |
|--------------|--|----|
| 事務用品削減       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各主幹組織管理事務用品の3S</li> <li>・事務用品購入仕組の見直し</li> </ul> | △  |
|              | ・一括管理の徹底(事務所)  | △  |
| 啓蒙活動         | ・教育資料作成と教育展開、評価  | ○  |
| エコ商品比率アップ    | ・グリーン商品以外の在庫『0』化   | △  |
| エコ商品使用促進     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社内、協力工場への教育</li> <li>・段ボール箱搬入抑制</li> </ul>       | △  |

※ 評価記入方法 ○…効果有 △…やや効果有 ×…効果無

7. 工程内不良個数削減

2018年度改善活動トピックス

- ①生産条件の見えるかにより、設備能力を最大限に活用することで不良低減を実施しました。良品条件の維持管理を行うことで、製造品質のばらつきを最小限にしました。



- ②要因の深堀を行い、ハード対策を行う事で品質の安定を計りました。
  - ・人の教育と並行しハード対策を重点に置き改善を計りました。
- ③日々管理を継続して行い、即対策の意識向上を行いました。
  - ・設備、測定記録チェック遂行と変化点の早期打ち上げを朝一で実施しました。
- ④2018年度活動及び2018年度活動評価

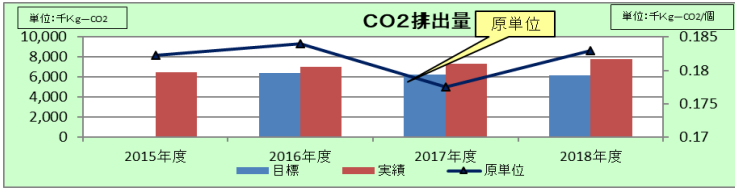
| 取組内容(2017年度)      |   | 評価 |
|-------------------|---|----|
| 変更変化点管理           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点横展開</li> <li>・点会議維持継続</li> <li>・CTの活用</li> </ul>       | ○  |
| 品質教育              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場ルール教育</li> <li>・6S3定教育</li> <li>・現場力評価の教育と実践</li> </ul> | ○  |
| 良品条件のチェック、フォロー    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産準備会議の向上&amp;量産までの問題点抽出</li> <li>・条件維持管理継続を計る</li> </ul> | ○  |
| 専門部会と主幹組織との連携及び協力 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携強化(環境改善目標の共有)</li> </ul>                                | ○  |

※ 評価記入方法 ○…効果有 △…やや効果有 ×…効果無

# 環境負荷量の経年変化

2015年度をベンチマークに評価を行う、18年度は原単位評価も組み込むこととしました。

## 1. 省エネ活動

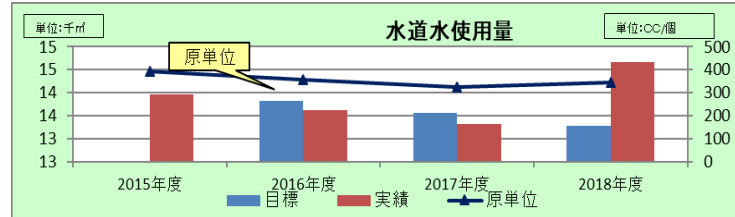


(単位: 千 kg-CO2)

|     | 2015年度   | 2016年度   | 2017年度   | 2018年度   |
|-----|----------|----------|----------|----------|
| 目標  |          | 6,382.82 | 6,253.87 | 6,189.40 |
| 実績  | 6,447.29 | 7,034.90 | 7,317.70 | 7,780.3  |
| 原単位 | 0.182    | 0.184    | 0.178    | 0.183    |

\* 生産増加により絶対値では増加も、原単位では微増

## 2. 水資源の有効活用と水質汚濁防止管理

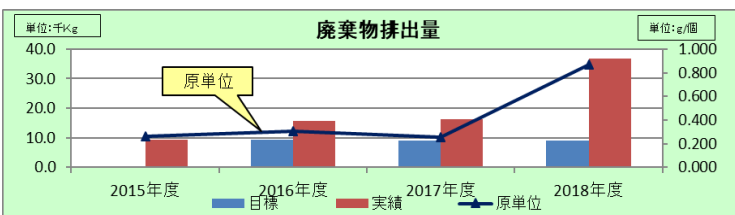


(単位: CC)

|     | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 目標  |        | 13.83  | 13.55  | 13.28  |
| 実績  | 13.97  | 13.61  | 13.31  | 14.67  |
| 原単位 | 395.01 | 356.05 | 322.85 | 344.83 |

\*原単位では、削減

## 3. 廃棄物のゼロミッション目標によるリサイクルと削減

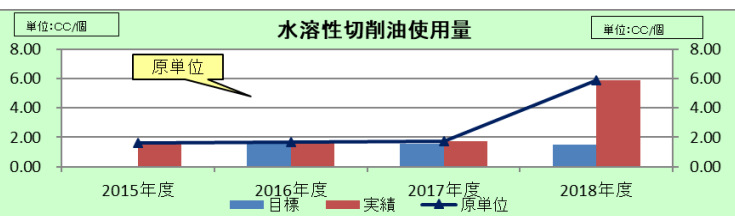


(単位: 千 kg)

|     | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度     |
|-----|--------|--------|--------|------------|
| 目標  |        | 9.28   | 9.09   | 8.9        |
| 実績  | 9.37   | 15.6   | 16.3   | 36.9       |
| 原単位 | 0.265  | 0.306  | 0.254  | 0.86737217 |

\* 絶対値、原単位共に増加

## 4. 水溶性切削油使用管理による削減

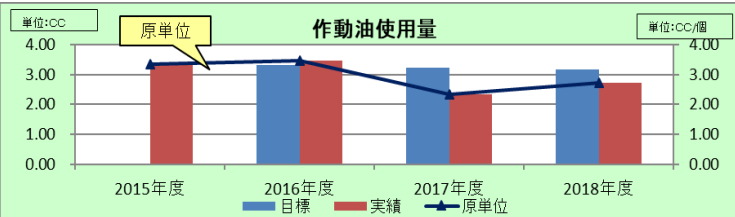


(単位: CC)

|     | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 目標  |        | 1.59   | 1.56   | 1.53   |
| 実績  | 1.61   | 1.70   | 1.73   | 5.91   |
| 原単位 | 1.61   | 1.70   | 1.73   | 5.91   |

\*タンク清掃での切削液交換により増加

## 5. 作動油管理による購入量の削減

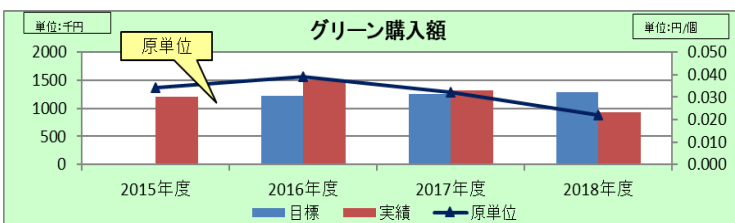


(単位: CC)

|     | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 目標  |        | 3.30   | 3.23   | 3.17   |
| 実績  | 3.34   | 3.45   | 2.34   | 2.72   |
| 原単位 | 3.34   | 3.45   | 2.34   | 2.72   |

\* 原単位で目標値達成

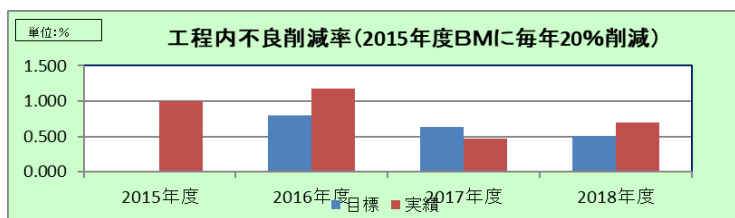
## 6. グリーン購入



(単位: 円)

|     | 2015年度 | 2016年度  | 2017年度  | 2018年度     |
|-----|--------|---------|---------|------------|
| 目標  |        | 1222.00 | 1256.00 | 1287       |
| 実績  | 1208.0 | 1497.0  | 1322.0  | 934.4      |
| 原単位 | 0.034  | 0.039   | 0.032   | 0.02196998 |

## 7. 工程内不良個数削減



(単位: %)

|    | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 目標 |        | 0.800  | 0.640  | 0.512  |
| 実績 | 1      | 1.175  | 0.468  | 0.703  |

\* 削減は出来たが目標には達しない

## その他の取組結果

### 1. 教育訓練

#### 【緊急事態の対応訓練】

##### • 溶湯漏洩時の訓練

アルミ溶湯の漏洩は、その温度から大きな災害に発展する可能性があるため訓練を実施しました。訓練内容は、「溶湯運搬時の転倒により溶湯がこぼれてしまった時の被害拡大を抑える訓練」と「こぼれた溶湯を処理するための訓練」です。

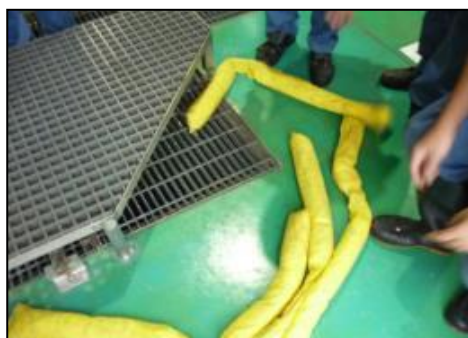


#### 【緊急事態の対応訓練】

##### • 緊急時想定訓練内容

染料槽の交換間違えて廃液がピットより溢れ出ることを想定

- ① 手順書の説明
- ② 緊急事態用備品類の確認及び説明
- ③ ピット周辺での訓練の実施
- ④ 排水処理施設の確認及び説明



## 2. 環境美化活動

### 【雨水水門清掃】

雨水水門の藻は光合成によりHP値に影響をおよぼす可能性があるため。側溝内の、雑草、藻、ゴミの清掃を行いました。



## 3. 事務間接活動

### 【避難路のごみ拾い】

避難路のごみ拾いをしています。思った以上の大量には驚きです。地域の方から『ご苦労様』を頂戴しました。



### 【工場敷地内のゴミ拾い】

工場敷地内のゴミ拾いをしています。風で舞ったビニール拾いと同時に環境点検も兼ね実施しました。



## 4. 地域コミュニケーション

### 【地域環境活動】

#### 【メダカの配布】

地域の主催のメダカの配布に参画河川の環境維持管理の大切さを共有すると同時に水質の維持改善を再認識する場になりました。



#### 【納涼祭】

地域の住民を交えての納涼祭地域と交流することで、弊社の存在をアピールできる機会として活動しました。



## 次年度の取組内容

| 取組項目                     |                           | 環境経営計画                                   | 担当者        | 次年度取組内容 |
|--------------------------|---------------------------|--|------------|---------|
| 1                        | 省エネ活動                     | ・ 受電設備のデマンド管理（監視と対応）による電力使用量の削減          | 省エネ専門部会    | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 掲示物、電光掲示板による消費電力の見える化                  | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ ムダ電力削減（長期休暇の待機電力削減、外灯点灯時間の調整、自動販売機の停止） | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ ムダ電力削減（灯交換機更新）                         | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 工場定期巡視によるエアー洩れ確認と対策                    | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ カレンダータイマーを活用した低温保持の強化                  | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 環境専門部会と主幹組織の連携及び協力体制強化                 | ↑          | 継続実施    |
| 2                        | 水資源の有効活用と水質汚濁防止管理         | ・ 生産量と水道使用量監視による問題点の洗い出し                 | 水資源専門部会    | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 排水処理水の再利用                              | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 腐食水漏れ配管の検査と補修                          | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 改善箇所の維持管理                              | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 自主管理基準の維持管理                            | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 表面処理棟水質管理                              | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 表面処理棟現状把握と通水量管理の導入                     | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 定期的巡回による点検                             | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 雨水側溝清掃実施                               | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 環境専門部会と主幹組織の連携及び協力体制強化                 | ↑          | 継続実施    |
| 3                        | 廃棄物のゼロエミッション目標によるリサイクルと削減 | ・ 置場改善による廃棄物分別の推進                        | 廃棄物専門部会    | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 廃棄物処理業者管理の徹底                           | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 廃棄量削減による問題点の早期対策                       | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ ルール策定、教育による再資源化推進                      | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 廃棄物を使用しない、発生させない仕組み作り                  | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 環境専門部会と主幹組織の連携及び協力体制強化                 | ↑          | 継続実施    |
| 4                        | 水溶性切削油使用管理による削減           | ・ 切削油の定期交換による使用量削減                       | 化学物質専門部会   | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 希釈量（濃度）管理による過剰使用防止                     | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 切削油の持ち出し削減                             | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 環境専門部会と主幹組織の連携及び協力体制強化                 | ↑          | 継続実施    |
| 5                        | 作動油管理による購入量の削減            | ・ 計画保全による作動油洩れ防止対策                       | 化学物質専門部会   | 継続実施    |
|                          |                           | ・ マシン作動油接続ホースの点検強化                       | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 巡回による配管等の洩れ確認と早期復元                     | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 作動油清浄化による接続部破損原因の対策                    | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ ダイカストマシン更新                             | ↑          | 継続実施    |
| ・ 環境専門部会と主幹組織の連携及び協力体制強化 | ↑                         | 継続実施                                     |            |         |
| 6                        | グリーン購入                    | ・ 新規、途中入社者への教育訓練                         | グリーン調達専門部会 | 継続実施    |
|                          |                           | ・ エコ商品リスト作成による在庫管理の徹底                    | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 新規購入品のエコ商品推奨と既存更新時のエコ商品への切替            | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 事務用品の3S活動による管理統一                       | ↑          | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 環境専門部会と主幹組織の連携及び協力体制強化                 | ↑          | 継続実施    |
| 7                        | 工程内不良個数削減                 | ・ 良品条件の確立と遵守                             | 製造GL       | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 日々管理により即改善の展開                          | 製造GL       | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 現場ルール遵守の監視と是正                          | 製造GL       | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 情報の積極的開示と即アクションの徹底                     | 製造GL       | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 情報収集による改善策の深堀と実施                       | 製造GL       | 継続実施    |
|                          |                           | ・ 環境専門部会、環境推進委員会と主幹組織の連携及び協力体制強化         | 環境事務局      | 継続実施    |

## 環境関連法規への違反、訴訟の有無

### 1. 順守評価の評価

| 順守評価の内容(概略)                                | 順守結果(概略)  |
|--|---|
| ・9/19県立入検査、雨水水門水質<br>(PH) 8.7 (基準値5.8~8.6) | ・11月~1月までの実測値を県に報告(問題なし)<br>(今後の処置)<br>・定期的な雨水側溝の清掃実施(6月に実施)<br>・継続的なPH値測定、確認 |

### 2. 環境関連法令の順守状況

環境関連法規等の取りまとめを下記の表に示します。これに基づいて順守状況を確認した結果、環境汚染を引き起す恐れのある環境負荷に対することは有りませんでした。認証取得から過去9年間にわたり、近隣住民の方や地域自治体からの苦情や、関係機関及び利害関係者からの訴訟はありませんでした。更に、継続管理するための環境管理体制の構築を展開しております。

評価日：2019年5月21日  
 評価者：竹嶋 悦人

| 法令等の名称 |                              | 適用される要求事項                                 |  | 遵守状況  |    |
|--------|------------------------------|---|--|---|----|
| 法令     | 基本・一般                        | 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律(公害防止組織法)          | 公害防止管理者の選任   | 大気第4種、水質第2種、騒音・振動、ダイオキシン類                                   | 遵守 |
|        | 大気                           | 大気汚染防止法                                   | ばい煙の規制基準<br>ばい煙発生施設の設置の届出  |   | 遵守 |
|        | 水質                           | 水質汚濁防止法                                   | 特定施設の設置の届出<br>排出水の排出の制限  | 水質基準の遵守   | 遵守 |
|        |                              | 浄化槽法                                      | 設置または変更時の届出<br>浄化槽管理者の浄化槽の保守点検及び浄化槽の清掃<br>定期検査(指定検査機関【静岡県生活科学検査センター】の行う水質に関する検査)   |   | 遵守 |
|        |                              | 水道法                                       | 管理基準   | 受水槽(10m <sup>2</sup> )の年1回の清掃<br>水質検査の実施(1回/年)              | 遵守 |
|        | 悪臭                           | 悪臭防止法                                     | 規制基準の遵守義務  | 規制基準：臭気指数15   | 遵守 |
|        | 騒音                           | 騒音規制法                                     | 騒音規制基準の遵守義務<br>騒音特定施設設置の届出   |   | 遵守 |
|        | 振動                           | 振動規制法                                     | 振動規制基準の遵守義務<br>振動特定施設設置の届出   |   | 遵守 |
|        | 廃棄物・リサイクル                    | 廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する条例)                  | 所有・占有・管理土地の清潔の保持(不適正処理廃棄物発見の速やかな通報等)<br>産業廃棄物収集運搬及び処分許可業者への委託<br>事業者の産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守<br>事業者の産業廃棄物の処理の状況に関する現地確認(産業廃棄物の処理を委託する場合)<br>事業者の産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託する場合のマニフェストの交付 |   | 遵守 |
|        |                              | 特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)                    | 自動車再資源化料金の再資源化等預貯金<br>としての資金管理法への預託  | 廃棄時、有料(リサイクル券)にて適切な引渡し(TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄)                  | 遵守 |
|        |                              | 自動車リサイクル法(使用済自動車の再資源化等に関する法律)             | 自動車の所有者の責務   | 自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務<br>使用済自動車のリサイクル(使用済自動車<br>の引き取り業者への引き渡し) | 遵守 |
|        | 化学物質・危険物                     | PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律) | 排出量の把握及び届出   | 第1種指定化学物質の排出量及び移動量を把握し、県知事経由で、主務大臣に届出                       | 遵守 |
|        |                              | ダイオキシン類対策特別措置法                            | ダイオキシン類に係る排出ガス及び排水に関する規制の遵守<br>特定施設の設置の届出  |   | 遵守 |
|        |                              | 消防法                                       | 指定数量以上の危険物の製造所、貯蔵所又は取扱所の許可(第一石油類 ガリ): 2,00L、第二石油類 軽油・灯油: 1,000L、第三石油類 重油: 2,000L   |   | 遵守 |
|        | 地球的規模                        | フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)       | 定期点検又は簡易点検の実施<br>フロン類の放出の禁止  | 「簡易点検(3ヶ月に1回以上)」実施<br>特定製品に冷媒として充てんされているフロン類の大気中への放出の禁止     | 遵守 |
|        | エネルギー                        | エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)                  | エネルギー使用者の努力  | エネルギーの使用の合理化、電気の需要の平準化に資する措置                                | 遵守 |
|        |                              |   | 主務大臣への定期報告   | 毎年度、エネルギーの使用量その他エネルギーの使用の状況等の報告                             |    |
|        | 静岡県条例                        | 静岡県生活環境保全等に関する条例                          | 一般粉じん発生施設設置の届出   | 金属製品又は木製品の製造の用に供する吹付塗装施設                                    | 遵守 |
|        |                              |   | 騒音特定施設の届出  | 冷凍機(圧縮機を用いるものに限る。)原動機の定格出力が3.75キロワット                        |    |
|        |                              |   | 騒音特定施設変更の届出  |   |    |
| 指令     | 静岡県産業廃棄物の適正処理に関する条例          | 土地所有者等の自らの土地の適正管理                         |  | 遵守  |    |
|        |                              | 事業者の産業廃棄物の実地の確認等                          |  |   |    |
| 指令     | ELV指令(End-of Life Directive) | 鉛、水銀、カドミウム又は6価クロムが含まれないこと                 |  | 遵守  |    |

## 代表者の全体評価と見直し

### 【環境管理責任者の評価】

#### ①内部監査結果より

- ・昨年と比較して、環境経営活動が進化していることは良いことです。今後も環境保護を通して維持改善を展開して下さい。
- ・内部監査の力量については、見えるかを計るように勧めて下さい。

#### ②マネジメントレビューより

- ・1年間の活動を確認させていただきましたが、今話にあった指摘項目について改善を行い、進化していくことを意識して環境改善活動を進めて下さい。
- ・実行計画が出来たら改善にスピードをもって活動し、成果に繋げ、そこをしっかりとアピールして下さい。

（評価日：2019年5月21日）

| 評価項目      |                          | 確認：（必要に応じて評価・コメント記載）   |
|-----------|--------------------------|--|
| 1・見直し関連情報 | 1 エコアクション21文章            | <input checked="" type="checkbox"/> 特に問題なし   |
|           | 2 環境目標及び目標達成状況           | <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を意識して活動する事  |
|           | 3 環境活動計画及び取り組み実施状況       | <input checked="" type="checkbox"/> 環境改善活動効果は収益に寄与する事は間違いないので引き続き活動する事                       |
|           | 4 環境関連法規要一覧及び遵守状況        | <input checked="" type="checkbox"/> 特に問題なし   |
|           | 5 外部コミュニケーション・対応記録       | <input checked="" type="checkbox"/> 計画をたて継続して活動する事   |
|           | 6 問題点の是正・予防措置の実施状況       | <input checked="" type="checkbox"/> EA21環境推進メンバー、専門部会リーダーで巡視を行い改善する事                         |
|           | 7 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向 | <input checked="" type="checkbox"/> 環境レポートを開示する事   |
|           | 8 その他（環境改善活動）            | <input checked="" type="checkbox"/> 目標への進捗状況を定期的チェック及びアクションを実施し、プロセスの有効性を評価し仕組みに落とし込み目標達成する事 |

- ・2017年版は経営と言う文言が追加された、これはISO14000も同じである。会社の利益となることから、ここで実施している活動は、自分達の業務と関係ないのではなく、自分達の業務と利益が直結することがISOでありEAでもあります。
- ・大きな効果は必要ですが、1円2円の積み上げをどう展開するかを専門部会チームで考え活動して下さい。
- ・2019年度からは、絶対値の削減評価及び、原単位での評価も行して下さい。
- ・報告は、立派な資料はいらなく、数字（定量的に）とプロセスが見えるようにして下さい。
- ・リーダーの人たちが形を作ってきましたが、特定の人にしわ寄せが行くのは良くない、専門部会改善活動と主幹組織改善活動との連携の強化を計り、進め方の仕組みを構築して下さい。

2019年5月21日 ミクニパーテック株式会社

代表取締役 秦野 武広

| 見直し項目         | 変更の必要性 | 「有」の場合の指示事項等                            |
|---------------|--------|---|
| 1 環境方針        | 有・無    | ・2017年版に変更していく事                         |
| 2 環境目標        | 有・無    | ・原単位での比較も取り入れて評価していく事・特殊要因は明確にしておくこと    |
| 3 環境活動計画      | 有・無    | ・PDCAを回し引き続き活動を展開する事。                   |
| 4 環境に関する組織    | 有・無    | ・環境専門部会、環境推進メンバーと主幹組織との連携できる仕組みに落とし込む事。 |
| 5 その他のシステム要素  | 有・無    | ・内部監査員の育成を行う事力量の見える化を計る事。               |
| 6 その他（外部への対応） | 有・無    |   |